(3) 予算案のポイント

平成30年度当初予算案は、4月に市長選挙、市議会議員選挙を控えていることから、骨格予算となっておりますが、将来の宇陀市づくりとして行っております継続事業は遅れることのないよう当初に計上しました。特に「宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と人口ビジョンの本格的な施策が始まって3年目（計画上は4年目）に入り、その深化を目指す事業、薬草プロジェクト事業などの農林業の活性化、宿泊施設誘致事業やDMO設立による広域観光事業などの観光戦略、アントレプレナー（起業家）育成循環事業などの移住・定住促進強化と域内経済の循環、健幸都市「ウェルネスシティ宇陀市」の実現、地域包括ケアシステムの推進、地域活性化の中心的な組織となる「まちづくり協議会」を充実することや、県とのまちづくり連携協定に基づく「まちづくり基本計画策定」など、宇陀市の将来に向けた事業の選択と集中を行うことにより、重要課題等に限られた財源を重点的、効率的に投資することとしました。

一方、その推進の方策等に関わる予算などはいわゆる「肉づけ予算」として、6月以降となります。その主な事業として、菟田野こども園建設事業、榛原駅前整備事業、宿泊事業者誘致事業の工事費等があり、その推進の方策等について、新体制で検証してからの予算計上となります。

◎人口減対策である「宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進

◎ 新たな「宇陀市モデル」への実践

①行財政改革の推進（第３次行財政改革）

②６次産業推進や企業（起業）支援等による地域経済の活性化

③市民の健康づくり活動を支える“ウェルネスシティ宇陀市”施策の推進

④地域包括ケアシステムの推進

⑤地域の活性化に向けた「まちづくり協議会」の充実

⑥公共施設のファシリティマネジメントの推進など行政マネジメントの徹底

⑦県との「まちづくり包括協定」に基づくまちづくりの推進

◎ 選択と集中による事業の重点化、効率化

◎ 市民生活の安全安心確保のための事業の推進

①高齢者や障がい者が安心して暮らせるための各種施策

②地域の公共交通の確保や防災防犯への対策

③道路の整備改良・補修事業や水道給水区域の拡張事業

このことにより、当初予算案は主に経常的経費による骨格予算ではありますが、宇陀市の継続的な発展に向けての予算編成の結果、一般会計の当初予算総額は173億6千万円となりました。

【 重 点 事 業】

1. にぎわいづくり創造プロジェクト

地域経済の活性化

予算額

(1) プレミアム商品券発行事業　7,900 千円

好評の「プレミアム付き ハッピー商品券」（市内流通の商品券）を発行します。

【商工観光課】

(2) 「ウッピー商品券」の発行　2,200 千円

宇陀市内における購買活動の増進、内需振興の一助として、宇陀市内流通商品券を発行します。

【商工観光課】

(3) 宇陀市産木材利用促進事業補助金（地方創生）　1,500 千円

宇陀市産木材を使用する新築やリフォームに対し、宇陀市産材木代金の１／２（上限１０万円）相当のウッピー商品券を交付します。　【農林課】

(4) 合併処理浄化槽設置整備事業補助金　14,428 千円

河川の水質保全と公衆衛生の向上につとめ快適な生活環境を確保するため、補助制度を設けて合併処理浄化槽の設置普及を図ります。　【環境対策課】

(5) 大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト（地方創生）　7,732 千円

大和高原地域の拠点を目指し、スポーツツーリズムによる誘客を図ります。

①宇陀シティマラソン開催事業　【生涯学習課】　1,600 千円

②全国還暦野球大会推進事業　【商工観光課】　4,000 千円

③登山道・ハイキングルート案内看板等整備　【商工観光課】　800 千円

④自転車のまちづくり事業　1,332 千円

近畿高校総体開催事業（自転車競技）、ツアーオブ奈良まほろば開催

【生涯学習課】　632 千円

サイクリングの推進　【商工観光課】　700 千円

(6) まちづくり活動応援補助金交付事業（地方創生）　3,047 千円

市内で活躍する団体が行う新たな取り組みに対し補助金を交付し、市民による主体的かつ地域の個性を生かしたまちづくりを推進します。　【まちづくり支援課】

(7) 女性のための就業支援事業（地方創生）　291 千円

女性の活躍促進に向けた就職サポートセミナーを開催し、女性の就職支援の充実を図ります。　【人権推進課】

農林業 ・ 商工業の振興

予算額

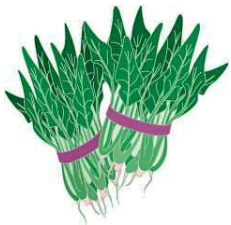
(1) 薬草を活用したまちづくり事業（地方創生） 17,846 千円

薬草栽培を推進することで、市の新たな産業の創出と地域活性化を図るとともに、講演会等の開催により、薬草の魅力を普及させ、健康意識の向上と生活習慣の改善等、ウェルネスシティ宇陀を推進します。 【産業企画課】

①全国薬草シンポジウム	5,630 千円
②宇陀市薬草協議会補助金	3,610 千円
③薬草メニュー開発事業	1,090 千円
④薬草ＰＲ事業	250 千円
⑤地域おこし協力隊事業	5,817 千円
⑥栄養機能食品支援事業	1,449 千円

(2) うだ産フェスタ開催 3,000 千円

市内における特産品や自慢の産品を一同に集め、広く市内外に推奨することにより、地域産業の活性化、地産地消の推進、生産意欲の向上を図り、また農林産物品評会との連携も行います。 【産業企画課】



(3) 農林産物品評会の開催 510 千円

農林産物品評会を通して、農林産物生産者のより一層の生産性及び品質の向上を図り、消費者に地元の農林産物のＰＲを行います。 【農林課】

(4) 水田活用経営所得安定対策交付金 1,000 千円

宇陀の黒大豆・大納言小豆の生産拡大を図るため、生産出荷者に対し振興作物助成金を交付します。 【農林課】

(5) 宇陀市農業支援基金事業 2,900 千円

効果的な宇陀市独自の農業支援策を展開するため、市内の農耕用車両から徴収した軽自動車税の全額を基金として、下記の事業に充当しています。 【農林課】

①農業用暗渠排水設置事業補助金　450 千円

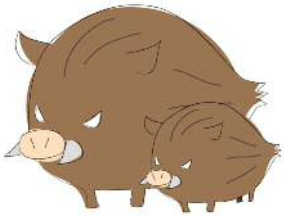
②農業用雨除けハウス設置事業補助金　1,000 千円

③農地・農業用施設維持管理に伴う重機借上げ補助金　1,450 千円

(6) 有害鳥獣対策の推進　17,214 千円

深刻な状況にある農林業に対する有害鳥獣の被害に対し、

効果的な対策を推進しています。　【農林課】



①有害鳥獣駆除集落取組事業補助金　200 千円

②有害鳥獣防除ライセンス取得等補助金（地方創生）　1,220 千円

③有害鳥獣防除施設設置被害防除事業補助金　3,000 千円

④鳥獣被害対策実施隊員報酬（地方創生）　680 千円

⑤有害鳥獣駆除事業（地方創生）　7,190 千円

⑥宇陀名張地域鳥獣害防止広域対策事業　1,100 千円

⑦里山の広葉樹林再生事業(再掲)　1,021 千円

⑧有害鳥獣駆除個体処理事業（地方創生）　2,803 千円

〇モンキードッグの育成・防除柵設置の推進ほかソフト事業

その他の農林業予算

○ 中山間地域等直接支払交付金事業	34,676 千円
○ 農業次世代人材投資事業（旧新規青年就農者確保事業）	15,000 千円
○ 経営所得安定対策直接支払推進事業	3,022 千円
○ 数量調整円滑化推進事業	477 千円
○ 農業経営体育成支援事業	3,538 千円
○ 機構集積協力金交付事業	400 千円
○ 環境保全型農業直接支払交付金事業	1,624 千円
○ 多面的機能支払交付金事業	28,142 千円
○ 団体営ため池防災対策調査計画事業	12,000 千円
○ 農林道台帳整備委託事業	5,500 千円
○ 宮奥ダム管理運営事業	17,373 千円
○ 森林環境税施業放置林整備事業	38,308 千円
○ 美しい森林づくり基盤整備事業	32,588 千円
○ 奈良県産材生産促進事業	8,575 千円
○ 森林所有者情報活用推進事業	1,620 千円
○ 分収造林育成事業	3,000 千円

(7) 中小企業資金融資保証事業　　5,827 千円

奈良県信用保証協会の保証を条件とした融資制度で、市内中小企業者の健全な育成、振興をはかるため、その事業経営に必要な資金を借り入れできるよう支援します。また保証料と借入利子の一部を補助します。　【商工観光課】

(8) アントレプレナー（起業家）育成循環事業（地方創生）　　51,745 千円

宇陀市内において「しごと」を作るため様々な施策で起業家を支援します。

①大和高原しごとづくり事業（Next　Commons　Lab 奥大和（宇陀））　31,072 千円

ロート製薬・奈良県と「大和高原の魅力ある仕事づくり連携協定」を締結した三者で、地域おこし協力隊員制度を活用した大和高原（宇陀市）のしごとづくりに取り組みます。　【企画課】

②空き家活用推進事業　　7,395 千円

空き家等を改修し、農家民宿や店舗として活用する場合に補助します。

【まちづくり支援課】

③創業・既存企業等支援ネットワーク事業　　1,750 千円

奈良県創業支援資金事業と連携し、資金の借入額に対し助成することで、市内での創業を促し、また既存企業との連携、経営等についてのセミナー等を開催することにより、市内産業の活性化、空店舗等の活用を図ります。　【産業企画課】

④宇陀チャレンジアシスト補助金事業・特産品等開発補助事業　　3,028 千円

市産業の活性化を図ることを目的に、市内事業者が行う販路拡大事業及び地域の農林産物を活用した新規開発事業に対し、その経費の一部を補助します。　【産業企画課】

⑤中小企業等施設改修・設備投資補助事業　　6,000 千円

市内の中小企業等の行う施設の改修や設備投資に対し、補助を行うことで産業の活性化を図ります。　【産業企画課】

⑥商品企画支援事業　　1,500 千円

市内の農産物や加工品等を大都市圏内の百貨店や大手スーパー等と継続して取引を行っていくため、商品企画やパッケージ等の開発、様々な事業者の相談等、販路を見出す専門家を一定期間雇い入れ、産業の活性化、地域所得の向上を図ります。

【産業企画課】

⑦中小企業支援ポータルサイト開設事業　　1,000 千円

市内中小企業に対し、国、県等からの支援情報の提供の一元化や、スムーズな情報の提供を行うため、ポータルサイトを開設します。　【産業企画課】

(9) 特産品・名産品等ＰＲ事業（地方創生）　　536 千円

特産品名産品等の情報を市内外に発信するとともに、ふるさと納税のお礼の品として使用することで、宇陀市のＰＲ、地域所得の向上、六次産業化の推進を図ります。　【産業企画課】

(10) 宇陀市伝統的技術後継者育成事業（地方創生）　　1,300 千円

毛皮革産業等をはじめとする伝統産業の後継者を全国また市内より募集し、それぞれの事業とマッチングさせるため支援し、産業の安定化、発展を図ります。　【商工観光課】

(11) 毛皮革振興協議会負担金　　2,400 千円

地場産業である毛皮革産業の育成と振興、魅力ある商品の開発、販路拡大を図ります。

【商工観光課】

(12) 空き店舗情報バンク事業　　100 千円

市内の不動産会社等と連携し、空店舗情報を集め、ホームページ等で公開し、空店舗等の利活用を促します。　【産業企画課】

観光振興　宇陀市の歴史的文化的資産の活用

予算額

(1) にぎわいづくり創造事業　58,219 千円

①宇陀四季彩推進事業（地方創生）　【商工観光課】　5,202 千円

②大宇陀福祉会館改修事業　【文化財課】　53,017 千円

(2) 宿泊事業者誘致・公園整備事業（地方創生）　63,492 千円

温泉を利用して、奈良県東部の観光の拠点となる宿泊事業者を誘致し、市の宿泊環境を整えるとともに、災害時における避難場所を兼ねた公園整備を行うことで、近隣住宅の良好な住環境を整え、移住・定住を促進します。

今年度は、上下水道・温泉引き込み工事設計、公園設計、文化財調査等を行います。

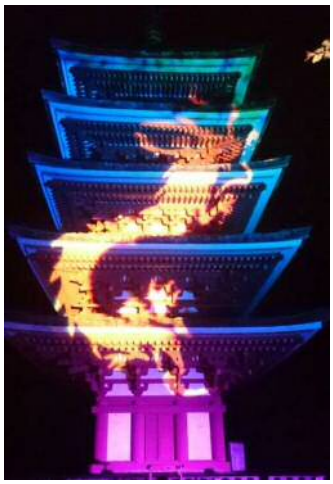
【宿泊施設用地・公園整備準備室、文化財課】

(3) ＤＭＯ設立による広域連携観光事業（地方創生）　7,000 千円

名張市・曽爾村・御杖村と共にＤＭＯ(※)を設立し、広域で連携して宇陀名張地域の観光振興を進めます。　【商工観光課】

※ＤＭＯ：『地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人』

(4) 観光誘致促進事業（地方創生）　8,671 千円



宇陀市の豊富な歴史資源を活用した事業展開と宇陀市の情報発信を行います。　【商工観光課】

①団体旅行誘致事業　2,680 千円

②観光客誘致案内事業委託料　4,546 千円

③記紀万葉推進事業　1,445 千円

(5) 歴史的・文化的資源の保存整備　84,522 千円

宇陀市松山重要伝統的建造物群保存地区での整備事業や、国・県指定文化財、市指定文化財の保存修理など、宇陀市の歴史的・文化的資源の保存整備を進めます。　【文化財課】

①重要伝統的建造物群保存地区保存事業　36,100 千円

②国指定史跡宇陀松山城跡保存整備事業　2,473 千円

③指定文化財保存修理等助成事業　8,615 千円

④国指定史跡森野旧薬園保護事業　34,402 千円

⑤民俗文化財伝承事業　180 千円

⑥国指定天然記念物向淵スズラン群落再生事業　502 千円

⑦国指定特別天然記念物オオサンショウウオ保護事業　2,109 千円

⑧国指定天然記念物カザグルマ自生地再生事業　141 千円

(6) 観光施設、観光資源の整備　4,362 千円

①室生口大野駅「おもてなしステーション」事業（地方創生）　【企画課】1,988 千円

②観光資源保全事業　【商工観光課】　1,264 千円

③レンタサイクル推進事業　【商工観光課】　246 千円

④平成榛原子供のもり公園再生プロジェクト（地方創生）　【公園課】　864 千円

(7) ワールドメイプルパークの指定管理　3,800 千円

ワールドメイプルパークについては、NPO 法人「宇陀カエデの郷づくり」に指定管理し、観光拠点・地域活性化の拠点とします。　【商工観光課】

(8) 宇陀市ＰＲ番組放送委託事業　824 千円

本市の住みよさや自然の豊かさなどを盛り込んだ動画を宇陀市自主放送で制作し、奈良テレビ放送「ゆうドキッ！」内コーナー「いきいきまちだより」（毎週金曜日放送）で放映します。また、それと併せてデータ放送によりイベント情報などのお知らせを放送する

ことにより、広く宇陀市の魅力をＰＲします。　【秘書広報情報課】

(9) 大和高原(東吉野)観光振興協議会との連携　1,500 千円

「大和高原(東吉野)観光振興協議会」と連携し、都市圏を中心に観光啓発をおこなうとともに、観光情報媒体を利用したＰＲにより市内への誘客と交流人口の増加を図ります。

【商工観光課】

(10) 中南和広域観光協議会との連携　120 千円

中南和地域の自治体により構成する中南和広域観光協議会を設置し、優れた観光資源が数多く存在する奈良県中南和地域の一体的な観光振興、観光事業展開を促進します。

【商工観光課】

2. 健康なまちづくりプロジェクト

予算額

(1) “ウェルネスシティ”推進事業　31,149 千円

後期基本計画の重点政策の中の一つである『ウェルネスシティ』の具体的な施策をまとめた『健幸都市　ウェルネスシティ宇陀市』構想に基づき、市民の誰もが健康で幸せと思えるまちづくりに向けた取り組みを実施します。

①健康ポイント事業（地方創生）　【健康増進課】　1,061 千円

②ウェルネス運動事業（地方創生）　【健康増進課】　1,217 千円

③ウェルネスシニア健康学校事業（地方創生）　【健康増進課】　809 千円

④おはようラジオ体操事業（地方創生）　【健康増進課】　508 千円

⑤いきいき百歳体操（地方創生）　【医療介護あんしんセンター】　900 千円

⑥ラジオ体操事業（地方創生）　【生涯学習課】　316 千円

⑦大人のための運動教室　【生涯学習課】　2,360 千円

⑧筋力アップのための運動教室の開催

【介護保険特別会計】　3,132 千円

⑨薬草を活用したまちづくり事業（地方創生）（再掲）

【産業企画課】　17,846 千円

⑩公園への健康遊具設置事業　【公園課】　3,000 千円

(2) がん予防対策等の推進　37,521 千円

①がん検診（大腸がん・胃がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん）事業

【健康増進課】　32,889 千円

②がん検診推進事業　【健康増進課】　4,632 千円

(3) 乳幼児・児童生徒・高齢者等予防接種事業　73,113 千円

感染の恐れのある疾病の発生及び蔓延の予防、重症化を予防することを目的に、予防接種を実施します。特に高齢者に対しては、インフルエンザ予防接種費用、高齢者肺炎球菌予

防接種費用の助成をします。　【健康増進課】

(4) 地域包括ケアシステム推進関係事業　107,474 千円

【医療介護あんしんセンター】

介護が必要になっても、できる限り自分らしく住み慣れた自宅や地域で安心して暮らし続けることができるよう地域包括ケアシステムを推進します。

①お薬手帳発行事業　【医療介護あんしんセンター】　1,080 千円

②指定介護予防支援事業　【医療介護あんしんセンター】　28,150 千円

③医療介護あんしんセンター管理費　【医療介護あんしんセンター】　6,215 千円

④地域包括支援センター事業費　【介護保険特別会計】　57,291 千円

⑤在宅医療・介護連携推進事業（地方創生）　【介護保険特別会計】　3,943 千円

⑥認知症総合支援事業（地方創生）　【介護保険特別会計】　6,575 千円

⑦地域ケア会議（地方創生）　【介護保険特別会計】　572 千円

⑧あんしん介護見守り事業（地方創生）　【介護保険特別会計】　1,248 千円

⑨医療介護連携ＩＣＴ負担金　【健康増進課】　2,400 千円

3. 住みよい地域創造プロジェクト

予算額

(1) まちづくり連携協定基本計画策定事業（地方創生）　25,616 千円

奈良県とのまちづくり包括協定を締結したことにより、拠点整備とその拠点間相互の連携を強化するための基本計画を県と協働し、今年度は菟田野・室生地域を策定します。

【まちづくり推進課】

(2) まちづくり協議会の推進（地方創生）　25,076 千円

地域コミュニティの充実・強化を図り、地域が主体となって身近な課題を解決できる組織の創設に取り組み、ほぼ全域で設立することが出来ました。今後は、「いきいきした地域づくり」ができるよう支援します。　【まちづくり支援課】

① まちづくり協議会支援事業　11,195 千円

② いきいき地域づくり活動支援補助金　5,900 千円

③ 地域支援員の設置　6,981 千円

④ 地域受入協議会支援事業補助金　1,000 千円

(3) 空き家情報バンクの活用（地方創生）　34 千円

市内の空き家情報の収集や周知に市がかかわることで、空き家の有効活用と市外から宇陀市への定住を促進します。　【まちづくり支援課】

(4) 定住促進奨励事業・子育て世代支援事業（地方創生）　8,157 千円

人口減少の歯止めと定住化及び活力あるまちづくりを推進するため、市内に住宅を取得した方が、要件を満たす場合に奨励金（ウッピー商品券）を交付します。また、子育て世代の方には奨励金の上乗せをします。　【まちづくり支援課】

(5) 結婚支援事業（地方創生）　250 千円

結婚支援イベントを開催し、カップルの成立と市内で住む夫婦の成立を目指します。　【まちづくり支援課】

(6) 自治会掲示板設置事業補助金　　820 千円

自治会のコミュニティ活動の円滑な推進を図るため、自治会が行う掲示板設置事業に対して補助を行います。　【総務課】

(7) 集会所等コミュニティ施設整備事業補助金　　12,366 千円

地域社会の育成を図るため、自治会等が行う集会所等の改修、新築に対して補助を行います。　【総務課】

(8) 「アタック 25」 同窓会開催補助事業（地方創生）　　125 千円

同窓会を通じて、故郷宇陀を再認識し、同世代のネットワークを形成するとともに、まちづくりに対する機運を盛り上げるために、同窓会開催に対して補助を行います。

【まちづくり支援課】

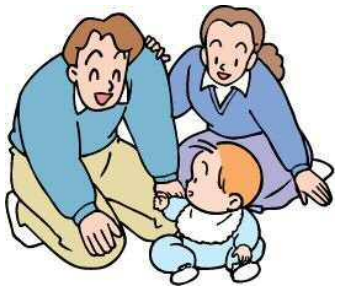
(9) 公営住宅等改善事業　　49,800 千円

公営住宅の屋根改善工事を施工することにより、躯体部分の劣化を軽減し、屋根の安全対策と住宅の長寿命化を図り、住民の安心に繋げます。　【公営住宅課】

(10) 公営住宅ストック総合活用計画策定事業　　7,800 千円

市営住宅の建替え事業、改善事業、長寿命化（維持保全）の適切な手法の選択のもとに、効率的な整備と供給を図るための総合的な計画を策定します。　【公営住宅課】

4. こども未来創造プロジェクト



予算額

(1) 家庭相談員・ファミリーサポートセンター事業（地方創生）　5,174 千円

児童虐待防止や子育てに対する不安や心配を解消するため、専門的知識を有する家庭相談員を配置し相談・啓発業務を行います。また、ファミリーサポートセンターは、育児の応援をしてほしい利用会員と応援したいサポート会員が育児の相互活動を行います。

【こども未来課】

(2) 不妊治療費助成事業（地方創生）　600 千円

宇陀市独自施策として、一般不妊治療に要する費用の一部を助成し、不妊治療を行っている市民の負担軽減を図り、若年層の定住促進に繋げます。　【健康増進課】

(3) 未熟児養育医療給付事業　1,140 千円

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児に対して、その治療に必要な医療費の一部を助成します。　【保険年金課】

(4) 子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃　5,096 千円

宇陀市独自施策として、所得制限を撤廃しています。　【保険年金課】

①子ども医療費助成事業（市加算分）　2,007 千円

②ひとり親家庭等医療費助成事業（市加算分）　3,089 千円

(5) 便利な田舎宇陀のレシピ（地方創生）　【こども未来課】　**9,487 千円**

①ベビーシートレンタル事業　328 千円

乳児を養育されている方を対象に概ね６ケ月間、自動車用ベビーシートを貸し出しています。

②出産祝い金支給事業　1,513 千円

新生児の誕生を祝い「ウッピー商品券（１万円)」を支給します。

③ファーストバースデー祝い品事業　511 千円

誕生後、初めての誕生日を迎える幼児に絵本を贈呈します。

④ぴかぴか１年生応援事業　4,185 千円

小学校及び中学校入学に伴うお祝い金として「ウッピー商品券（１万円)」を支給します。

⑤トリプルチルドレン応援事業　2,950 千円

多子世帯家庭の子どもの生活の安定や福祉の増進を図るため補助を行います。

(6) こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）（地方創生）　696 千円

生後４ヶ月までの乳児のいるすべての家庭に、助産師若しくは市の保健師が訪問し、育児や生活についての相談に応じています。　【こども未来課】

(7) 母子保健事業の充実　21,378 千円

妊娠期からの母と子の健康を身体的、精神的に支え、安心して子育てができるよう必要な支援を行います。　【健康増進課】

①妊婦一般健康診査補助券・母子健康手帳の交付　15,034 千円

②乳幼児の健康診査　2,244 千円

③育児教室・相談の開催　597 千円

④産婦人科一次救急体制整備負担金　693 千円

⑤小児深夜診療負担金　1,173 千円

⑥子育て世代包括支援事業　1,637 千円

(8) 子育て支援センター「すくすく」の充実　3,964 千円

家庭で保育する乳幼児や家族を対象に、子育ての情報の提供や育児不安等についての相談指導、支援を行います。＜親子教室、サークル支援、出前保育等＞　【こども未来課】

(9) 病後児保育事業（地方創生）　2,653 千円

保護者が就労している場合等において、子どもの病気が回復期にあるとき、自宅での保育が困難な場合に病後児保育室で保育を行います。　【こども未来課】

(10) うだこども元気づくりプロジェクト事業（地方創生）　248 千円

各幼稚園、保育所・こども園等で創作した「子ども元気ダンス」を日々の教育カリキュラムに取り入れ、幼児期の望ましい運動習慣として、身体を動かす機会を与え、専門的分野としての体育指導を行い、子どもたちの体力向上に取り組みます。　【こども未来課】

(11) 積み木立体パズル（キュボロ）購入事業　775 千円

遊びながら物事を自分で考える能力を育てる、スイス生まれの木のおもちゃ。保育所、こども園、幼稚園に配置します。　【こども未来課】

(12) 放課後児童健全育成事業　40,647 千円

小学校授業の終了後、小学校の空き教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を与え、学童保育室内において楽しい集団生活を体験し、学校生活と家庭生活の結び目としての役割を果たします。　【こども未来課】

(13) 子ども達の就学の経済的支援　19,393 千円

経済的な理由で就学困難な世帯に対し、小・中学校の就学援助を、また、宇陀市独自の施策として「宇陀市ぬくもり修学奨励費補助金（高校大学等の入学一時金）」を助成しています。　【教育総務課】

① 特別支援教育・要保護準要保護児童就学援助費・被災児童生徒就学援助費（小学校）　8,870 千円

② 特別支援教育・要保護準要保護生徒就学援助費・被災児童生徒就学援助費（中学校）　8,963 千円

③ 宇陀市ぬくもり修学奨励資金支給事業　1,560 千円

(14) “こあら教室”の開設　6,603 千円

作業療法士・臨床心理士・保育士が発達障がい児の障がいの種類や程度に応じて、日常生活における基本的生活習慣、集団生活への適応について指導するとともに、保護者の交流の場を設けています。　【介護福祉課】

(15) 児童発達支援員配置事業　2,090 千円

親子が適切な支援を受けるために、専門支援員による障害児相談支援の充実を図ります。【介護福祉課】

(16) “宇陀子どもフェスタ２０１８”開催費（地方創生）　850 千円

遊びやスポーツ体験を通して子ども達の交流と仲間づくりを図ります。【生涯学習課】

(17) 学校教育における児童生徒の学習意欲の増進　35,718 千円

①外国語活動指導助手設置事業（地方創生）　6,891 千円

小学校５～６年生を中心に小学校１年生から、ALT（外国人英語指導助手）を派遣して英語指導を行っています。また、幼稚園・保育所・こども園では、平成２５年度から「Hello,English ハローイングリッシュ」を開始し、外国人講師による楽しい英語活動に親しんでいます。　【教育総務課】

②使える外国語教育推進事業（地方創生）　875 千円

学習指導要領に対応したカリキュラムにより学習指導要領に沿った教材を用いて実践的なスピーキング力・リスニング力を向上させるため、パソコン通信を用いて海外の講師とオンラインで会話します。　【教育総務課】

③外国青年招致事業　8,591 千円

（財）自治体国際化協会の「語学指導を行う外国人青年招致事業」による２名の ALT（外国人英語指導助手）を、市内４中学校に派遣し、生徒の英語力向上と英語教育の充実を図っています。　【教育総務課】

④グローバル教育推進事業　　304 千円

・ようこそ！サイエンスラボ

市内各幼保小中学校の幼児児童生徒を対象として、高等学校科学部による科学実験教室や JAXA 宇宙教育研究開発機構による出前授業を行い、科学的な見方・考え方を養うとともに、理科への学習意欲を高めています。　【教育総務課】

・英語スピーチコンテスト

市内各小・中・高等学校で行われている外国語活動や英語学習の成果を、スピーチやスキット（寸劇）にして発表し交流することを通して、英語への学習意欲を高め国際性豊かな児童・生徒の育成を目指しています。　【教育総務課】

⑤学力学習状況調査（地方創生）　　523 千円

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における教科指導の充実や学習状況の改善に役立てます。　【教育総務課】

⑥学力向上指導員設置事業（地方創生）　　800 千円

放課後の学習機会を確保し、学力向上を目的とした学校教育活動支援をおこないます。

【教育総務課】

⑦不登校児童生徒支援事業（適応指導教室“はばたき”）の充実　　6,715 千円

不登校児童・生徒の自立を図り在籍校への復帰を支援するとともに、同じような悩みを持った仲間との活動を通じて、自信や活動意欲の向上を促し、物事に挑戦し、向き合う力を育みます。　【教育総務課】

⑧家庭教育力支援事業(教育相談「就学」)　（地方創生）　　661 千円

臨床心理士による幼児、児童生徒の発達相談など、保護者や教職員の悩みに心理的な立場から相談を行います。　【教育総務課】

⑨言語力育成支援事業（通級指導教室“ほほえみ教室”の継続）　　3,639 千円

通常の学級に在籍しているが、特別な教育的支援を必要としている児童へそれぞれの実態

に応じて通級による指導を行います。この教室は榛原小学校に設置します。

【教育総務課】

⑩学校・地域パートナーシップ事業（地方創生）　3,117 千円

保護者や地域のボランティアによる学校教育活動や環境整備、子どもたちの安全な登下校の見守りなど学校を支援する仕組みを整え、地域の教育力向上を図ります。

【生涯学習課】

⑪スクールカウンセラー設置事業　3,602 千円

小学校及び中学校にスクールカウンセラーを設置し、いじめ、不登校等の未然防止・解決を図ると共に、児童生徒・保護者の心の悩みに対しカウンセリングを行います。

【教育総務課】

(18)JFA こころのプロジェクト「夢の教室」事業（地方創生）　1,380 千円

財団法人日本サッカー協会の協力により、JFA こころのプロジェクト「夢の教室」を全小学校で開催し、夢を持つことの大切さを児童に伝えます。　【教育総務課】

(19)子どもたちの夢を育む育成事業（地方創生）　250 千円

幼児の情操教育の一環として本物に触れ、豊かな感性や表現力、優しさや想像力を養うために行う事業で、今年度は市内７箇所の３．４．５歳児が集まり、共に音楽に親しむ機会を持ちます。　【教育総務課】

(20)学校給食地産地消促進事業（地方創生）　1,500 千円

園児・児童生徒が地域への理解を深め、生涯に渡って、心豊かで健康な生活の基礎を養うため、学校給食における地産地消を推進します。　【学校給食センター】

(21)学力・体力向上事業（教育センター）（地方創生）　1,820 千円

大学教授や弁護士、専門家による講演及び講師の派遣指導等により、教職員の専門性や資

質及び指導力の向上を図り、子どもの学力・体力向上を目指します。

【教育総務課】

(22) 部活動指導員配置事業　　1,018 千円

教員の働き方改革の一環として、部活動指導にかかる時間を軽減し、教材研究や生徒との面談等の時間を確保します。また、経験のない競技などの指導による心理的負担の軽減を図り、生徒への部活動指導の質の向上を図ります。　【教育総務課】

(23) 榛原西小学校便所改修事業　　55,162 千円

児童用便所の老朽化に伴い改修が必要となっているため改修を行い、教育環境の改善を図ります。　【教育総務課】

(24) 榛原東小学校渡廊下耐震化事業　　16,774 千円

榛原東小学校渡廊下２棟の耐震改修工事を行い、学校施設の安全性を確保します。

【教育総務課】

5. 市民安心安全プロジェクト

暮らしの安心

予算額

(1) 地域公共交通の確保　62,111 千円

市営有償バス「大宇陀南部線」「榛原大野線」「デマンド型乗合タクシー」の運行と路線バスへの運行対策費負担等により、市民の交通移動手段を確保します。　【企画課】

①奈良交通バス運行対策費負担金　32,786 千円

②奥宇陀わくわくバス運行業務委託　5,942 千円

③大宇陀南部線　4,743 千円

④榛原大野線　3,843 千円

⑤デマンド型乗合タクシー　11,818 千円

⑥ほっとバス錦運営協議会補助金　500 千円

⑦公共交通空白地有償運送事業補助金（らくらくバス）　2,479 千円

(2) 宇陀市地域公共交通網形成計画推進事業（地方創生）　3,300 千円

持続可能な公共交通ネットワークを構築していくために、公共交通のさらなる利用促進を図ることが重要であることから、当該計画に位置付けた事業を実施します。　【企画課】

(3) 室生口大野駅「おもてなしステーション」事業（地方創生）

1,988 千円(再掲)

近鉄室生口大野駅係員無配置化対策として観光案内係員を配置し、観光客や一般利用客の利便性や安心を確保します。　【企画課】

(4) 心身障害者医療費、重度心身障害老人等医療費助成の所得制限の撤廃

6,200 千円（市加算分）

宇陀市では、独自の施策として所得制限を撤廃しています。　【保険年金課】

(5) 高齢者等支援委託事業　2,033 千円

地域における高齢者の支援について宇陀市社会福祉協議会に事業を委託します。

①“高齢者等サポート隊”事業（地方創生）　500 千円

見守りが必要な在宅の高齢者等に対し、見守り・安否確認・身近な支え合い活動を行うボランティア組織の協力を得て、社会福祉協議会を中心に、実践活動を行います。

【介護福祉課】

②ワンコインライフサポート事業　150 千円

高齢者等の生活支援を必要とする人が、少ない負担で地域のサポーターによる軽微な生活支援を受けることにより、地域で安心して過ごせる仕組みを構築します。

【介護福祉課】

③いきいきサロン事業　1,383 千円

高齢者が地域の集会所において、ボランティアと共に歌、軽体操、軽い手作業を通じて高齢者の閉じこもりを防ぎ、高齢者の居場所づくり、交流の促進を図り、要支援、要介護状態への進行を防止します。　【介護保険事業特別会計】

(6) 高齢者等見守り支援事業（コールセンター方式）　1,368 千円

見守りが必要な高齢者等に対し、緊急・相談通報装置を貸与することにより、２４時間体制でコールセンターにつながり、緊急通報や相談ができるシステムを運用します。　【介護保険事業特別会計】

(7) 福祉タクシー利用券助成事業　816 千円

重度心身障害者・児の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を図るため、福祉タクシーの利用料金の一部を助成します。　【介護福祉課】

(8) 米寿者・百歳者お祝い事業　603 千円

長年社会に貢献してきた方々へ長寿を祝福するとともに敬老の意を表するため、年度内に満 88 歳及び満 100 歳の誕生日を迎える方にお祝い品を贈呈します。　【介護福祉課】

(9)消費者生活相談窓口開設事業　　1,004千円

多様な消費者被害・架空請求・振り込め詐欺の多発、食品の安全・安心をゆるがす事件が発生しており、こうした問題に対応するため県と連携し安全・安心な消費生活実現のため相談窓口強化に取り組みます。　【商工観光課】

(10)心配ごと相談事業　　189千円

民生委員・児童委員により、市民の皆さんの日常生活上の悩み等を気軽に相談できる場として、また、相談者の負担の軽減と、相談機会の増加を図り、助言・支援を行います。

【厚生保護課】

(11)生活困窮者自立支援事業　　3,967千円

生活困窮者自立支援法に基づき、相談支援員が生活の困りごとをうかがい、必要な情報の提供や助言を行い、解決方法を一緒に考えながら、他法・他施策の窓口や地域のネットワーク、関係機関等と連携し継続的な支援を行います。　【厚生保護課】

暮らしの安全

予算額

(1) 防災・防犯情報及び学校安全安心メール配信事業　899 千円

緊急情報や防災・防犯情報、くらしに役立つ情報を携帯電話やパソコン配信しています。配信した緊急情報は、ＣＡＴＶ自主放送（うだチャン１１）との連動により多くの市民への情報伝達を図り、市民の安全・安心を確保します。また、災害時には、緊急速報メール・エリアメールの配信も行います。　【危機管理課】

学校等からの緊急連絡、注意喚起などの情報を、有効な情報連絡ツールとして運用します。【教育総務課】

(2) 防災行政無線システム維持管理事業　22,931 千円

災害時における迅速かつ円滑な情報収集及び情報伝達手段を確保するため、デジタル化整備した防災行政無線システムの機能を、常に良好な状態で維持します。　【危機管理課】

(3) 消防団活動の充実・安定　【危機管理課】　33,093 千円

①消防団員報酬・出動手当等　32,813 千円

②女性消防団員活動育成事業　280 千円

(4) 避難所設備強化事業（地方創生）　93 千円

災害時に避難所等で使用するためのＡＥＤを配備し、救急救助体制の充実を図ります。　【危機管理課】

(5) 災害時備蓄用品整備事業　2,691 千円

大規模災害に備えて、災害に強いまちづくりを推進することを目的に、平時から食糧、生活必需品及び災害対策に必要な防災資機材の備蓄を行います。　【危機管理課】

(6) 全国瞬時警報システム新型受信機導入事業　2,754 千円

全国瞬時警報システム（Ｊアラート）の新型受信機導入により、緊急情報の伝達に要する

時間の短縮と情報内容の充実を図ります。　【危機管理課】

(7) 地域防災拠点等整備基本構想策定事業　4,000 千円

消防団組織再編計画に基づく消防機庫の統合と併せて、地域の防災コミュニティの拠点として活用できる施設の整備に向けた基本計画を策定します。　【危機管理課】

(8) 自主防災組織設立の促進　300 千円

災害時の被害を最小限にするための共助機能を高めるため、地域における自主防災組織の設立を促進し、組織の育成を図ります。　【危機管理課】

(9) 自主防災組織資機材購入補助事業　700 千円

自主防災組織が整備する資機材の購入に要した費用の一部を補助し、組織の充実を図ります。　【危機管理課】

(10) 里山の広葉樹林再生事業補助金　1,021 千円

住居地に近い里山を地権者と協議し、土砂災害に強い樹種への転換を図ります。【農林課】

(11) 防犯灯、交通安全施設の整備　39,269 千円

道路照明、防犯灯の整備更新をすすめ、ガードレールやカーブミラーの設置修繕、センターラインなどの路面標識を点検整備し、安全の向上に努めます。　【総務課・建設課】

①防犯灯設置事業補助金　7,119 千円

②交通安全施設整備事業　32,150 千円

(12) 防犯カメラ設置事業補助金　800 千円

住民の防犯意識をたかめるとともに、犯罪の防止及び抑止を目的として、自治会・まちづくり協議会などが防犯カメラ設置する事業に対して補助をします。　【総務課】

(13) 団体営ため池防災対策調査計画事業（施設点検）（再掲）12,000 千円

ため池施設の現状を把握し、施設の改修計画を立てるなど、地域の安全度を高めるため、施設点検を実施します。　【農林課】

(14)既存木造住宅耐震診断・改修支援事業　　2,000千円

旧基準の木造建築物について、耐震診断の実施により耐震性能を把握し、耐震改修を行うことで災害の拡大や人的・物的被害を軽減出来るよう、その費用の一部を補助します。

【まちづくり推進課】

(15)道路災害防除事業　　100,000千円

市道長峯大野線他の災害防除対策計画を策定し、計画的に対策工事を行い、道路の安全性の確保と経費の平準化を図ります。　【建設課】

(16)道路ストック総点検事業　　110,000千円

市道橋梁・トンネルの点検を行い、道路の安全性の確保及び施設の長寿命化を図ります。

【建設課】

(17)橋梁長寿命化事業　　140,000千円

橋梁・トンネルの点検に基づき、修繕計画を策定し、計画的に修繕工事を行い、施設の長寿命化を図ります。　【建設課】

生活基盤の整備

予算額

(1) 効果的な道路新設・改良と補修の実施　438,804 千円

地域が有する道路の課題に対して効果的な拡幅・開設事業を実施するとともに、安全性向上のための舗装修繕を行います。　【建設課、まちづくり推進課、農林課】

①市道改良工事６路線外　182,773 千円

②萩原 12 号線道路改良事業　123,171 千円

③県営一般農道大野向渕線整備事業負担金　28,560 千円

④市道舗装等維持補修事業　104,300 千円

(2) 水道給水区域の適正化　174,000 千円

安心、安全、安定した水の供給をめざして、水道未普及地域の解消に努めます。　【施設課】

①田原地区水道事業　130,000 千円

②松井地区水道事業　20,000 千円

③玉立・赤瀬地区水道事業　24,000 千円

(3) 下水道施設の維持補修及び改築更新を中心とした事業　14,000 千円

老朽化が進む施設全体のストックマネジメントを推進し、維持修繕及び改築更新を計画的に行います。　【下水道課】

① 第２中継ポンプ場改築更新工事　4,000 千円

② 下水道ストックマネジメント計画策定　10,000 千円

(4) 地籍調査の推進　22,100 千円

市民及び公共の財産を保全するため、地籍の明確化を目的として地籍調査を推進します。

３０年度は榛原下井足地区、大宇陀岩清水地区の地籍調査を実施します。　【地籍調査課】

(5) 合併処理浄化槽の整備推進（再掲）　14,428 千円

奈良県の水がめである室生ダムの水質保全と快適な生活環境の促進を図るため、市民が

設置する合併処理浄化槽に設置整備事業補助金を交付します。　【環境対策課】

(6) 循環型環境社会の推進　1,942 千円

①生ゴミ処理機等購入助成事業【環境対策課】　262 千円

②集団資源回収助成事業【環境対策課】　1,680 千円

(7) 地球環境に配慮した施策　7,119 千円

防犯灯設置事業補助金（再掲）

防犯灯の新設、器具の更新及び節電効果が大きく長寿命である「ＬＥＤ防犯灯」を推奨するため、自治会等に対して防犯灯設置費用の一部を補助します。　【総務課】

６．改革改善プロジェクト

予算額

(1) 歳入面からの改革改善の取組み　93,223 千円

①ふるさと応援寄附金の充実　50,000 千円

ふるさと納税の特典として、宇陀市の特産品、名産品等を活用し、産業の活性化と歳入の増加を図ります。　【総務課】

②コンビニエンスストア納付の推進

納税者等の利便性を高めるため、休日・夜間等にも利用できるコンビニエンスストアでの納付を開始しています。　【関係各課】

③納税コールセンターによる納付率の向上

現年度課税分の市税等が未納になっている納税者に対して、電話で自主納付を呼びかけ、収納率の向上を図ります。　【徴収対策課】

④低利用、未利用状況の市有資産の売却　【管財課】

○土地売払い収入予算額　42,623 千円

○廃車となった公用車の売払い収入予算額　600 千円

(2) 歳出面からの改革改善の取組み　▲223,992 千円

①職員等人件費の削減　【人事課】　▲12,976 千円

○市長・副市長・教育長の給料カット（１０～１５％）　▲ 2,976 千円

○時差出勤制度活用等による時間外勤務手当の削減　▲10,000 千円

②公債費（市債の償還金）の縮減　【財政課】　▲211,016 千円

平成１９年度から続けてきた市債発行額の抑制の効果等により、公債費が対前年比▲7.5%縮減しました。

(3) その他の行政改革

①電子入札・契約管理システムの導入　【管財課】　6,338 千円

電子入札システム・契約管理システムを導入したことにより、入札における透明性の向

上や事務の簡素化を図ります。

②マイナンバーカードを利用したコンビニ交付　【市民課】　11,351 千円

コンビニでの各種証明書の交付を行い、住民サービスの向上、マイナンバーカードの推進、窓口混雑の解消等を図ります。